「これから始める」 「何をすればいいかわからない」

そんな健活企業様は まずはこちらから!

メンタルヘルス対策のための個別訪問支援

岡山産業保健総合支援センターでは、メンタルヘルス対策の普及促進のため、 メンタルヘルス対策促進員が個別訪問支援を無料で実施しています。

メンタルヘルス教育の実施

管理監督者向け教育(ラインケア)

部下やチームの「いつもと違う!」に気づくことで 職場環境の把握や改善につながります。

若年者向け教育(セルフケア)

メンタルヘルスに対する正しい理解とセルフケア促進 のために。特に新入社員教育におすすめです。

心の健康づくり計画

計画的、継続的にメンタルヘルス対策に取り組むために 「心の健康づくり計画」を策定することをお勧めしています。



ストレスチェック

ストレスチェックは労働者自身のストレスへの気づきを促すだけでなく、 その後の職場環境の改善にもつながります。 50人未満の事業場においても、ストレスチェック義務化の動きがありますので、 アドバイスを受けながら計画的に導入をしてみませんか。

職場復帰支援プログラム

心の健康問題による休業からの復職を円滑に進めるために、きちんと手順 を作っておきましょう。 ※詳細は裏面をご覧ください。



その他

職場のメンタルヘルス対策について、 「事業場内の体制を整えたい」「何から始めればいいのかわからない」等 いろいろなお困りごとについても、気軽にご相談ください。





お申し込みはこちらから!

岡山産業保健総合支援センターのホームページへ



岡山産業保健総合支援センター





職場のメンタルヘルス対策 メンタル不調による休職者が出る前に 職場復帰支援プログラムの策定をお勧めします

もし今あなたの職場で、メンタル不調によりお休みする社員が出たら… 手続きはスムーズにできますか?休業期間や保障についての説明はどうしますか? 休業中の連絡担当者や、連絡方法は?

メンタルヘルス不調による長期病休者は増加傾向が続いています。その対応のためには、問題が生じてからどうすれば良いのか検討するのではなく、休業開始から通常業務復帰までの手順をあらかじめ「プログラム」として決めておくことが大切です。

特にメンタル不調での休業は連絡が取りづらいケースが多いようです。



診断書の療養期間が過ぎてしまったが、 本人から連絡がなく状況がわからない



なんとなく電話しづらくて、休業開始以来まったく連絡しないまま 休業期間満了の期限が迫って困っている

岡山産業保健総合支援センターでは、心の健康問題により休業した労働者の「**職場復帰支援プログラム」づくり**をお手伝いしています。

🐽 職場復帰支援プログラムの基本的な流れ

病気休業開始及び休業中の

ケア

STEP1

STEP2 主治医による

職場復帰可能の

判断

STEP3

職場復帰の可否 の判断および職

場復帰支援プランの作成

STEP4

最終的な

職場復帰の決定

STEP5

職場復帰後の

フォローアップ

具体的には、それぞれのステップで、以下のようなことを検討して策定しましょう。 たとえば…

- *休業開始時に伝えたいことをまとめた「休業のご案内」の作成
- *療養中に使用する生活記録票や主治医との連絡書式等、各種様式の準備
- * 職場復帰の可否の判定基準
- *試し出勤制度等はどうするか、就業上の配慮のルールは、etc…





岡山産業保健総合支援センターは、産業保健に関わる人に向けて、 産業保健に関する幅広いサービスを無料で提供している公的機関です。

岡山産業保健総合支援センター

〒700-0907 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング12階 URL: https://okayamas.johas.go.jp/

2086-212-1222

